



学校だより

4月号

令和2年4月7日

まちのみんなひとつになあれ

スタートでの思い

校長 堀野 由里

卒業式に開き始めた桜の花が満開になりました。入学式を待っていてくれていたかのようです。昨年秋から1年生や園芸ボランティアの皆さんがお祝いの気持ちを込めて世話をしていた菜の花やパンジー、チューリップなどの春の花も、スロープや昇降口前で色とりどりに咲いています。お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

昨年度末からの新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、多くのご不安やご心配をおかけしてきました。3月の卒業や学年終了目前での突然の休業、子どもたちの気持ちの混乱や心の負担などがあったことと思います。そしてまた、新しい学年でのスタートの時期にこの状況になりました。しかしながら子どもたちの健康安全を守ることがまず第一と考え、スタートした直後に臨時休業という措置となりました。

1年生は小学校へ入学し、2年生以上は新しい学年になり、子どもたちはさまざまな抱負や願いをもってこのときを迎えていると思います。毎年キラキラした、そして満面の笑顔で始業式に臨む、この新しいはじまりはとてもすてきだと感じています。たとえお休みになるとしても、新しい学年、新しい学級、新しく出会う友達や先生、新しい教科書や新しい学習など、スタートラインに立った子どもたちには、夢や思いがたくさんあると思います。

このような状況ではありますが、2020年度のスタートで子どもたちがもっている思いや願いを大切に、意欲を支えて励ましていきたいと思っています。教職員一同、力を合わせて教育活動に取り組んでいきます。保護者の皆様、地域の皆様には引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、子どもたちをあたたく見守ってくださいますよう、よろしく願いいたします。

教育理念「まちのみんなひとつになあれ」

教育目標「互いにみつめ、気づき、やりとげる 相武山の光の子」

- 【知】 基礎・基本を身につけ、課題を追求し、解決する子を育てます
- 【徳】 自分のよさや友達のよさに気づき、人を思いやる子を育てます
- 【体】 心と体をきたえ、心身ともにたくましく生きる子を育てます
- 【公】 人や自然、まちとのかかわりを大切にする子を育てます
- 【開】 学びを生かして自分の夢を育て、進んで取り組む子を育てます